

第10回都市計画道路益城中央線連絡協議会 意見概要

日時：令和6年（2024年）2月22日（木）10：00～11：10

場所：益城町役場 2階 会議室2-1・2-2・2-3

出席者：吉村会長、荒牧委員、宮崎委員、野田委員、中川（公）委員、住永委員、土屋委員、高橋委員、川端委員、中川（耕）委員、水口委員

熊本県：熊本県都市計画課、益城復興事務所

事務局：益城町復興整備課

報道関係者：熊本日日新聞社

【議事内容】

- （1）開会
- （2）会長挨拶
- （3）益城復興事務所からの説明
- （4）益城町からの説明
- （5）意見交換
- （6）閉会

意見交換概要

（質問）

- ・益城町で計画している駐輪場整備について、駐輪場に自転車を置くととき施錠できる形で駐輪場を整備するのかを確認したい。

（益城町：回答）

- ・駐輪場には、自転車の車輪を固定できるような施設を設置するように検討しています。

（質問）

- ・4車線化事業に伴い、これまで土だった箇所がアスファルト舗装されることで、雨量の多いときは標高の低い益城中央線の南側へ一挙に雨水が流れ込み、内水氾濫の発生を心配している。内水氾濫が起きないようにチェックを行っていただきたい。

（熊本県：回答）

- ・道路に降った雨については道路の側溝で処理して下流に流すような計画となっています。また、昨年3月に供用開始した広崎地区については、供用開始して1年が経ちますが、昨年の雨ではその下流に影響があったことは確認されていません。現在、道路工事を行っているところと今後道路工事を行うところについては、道路の排水計画を再度チェックしたいと考えています。

(要望)

- ・益城中央線4車線に接道する集落内に入出入りする道路（取り付け道路）について、当初の計画では、車の離合ができるように幅員6mの区間を1.3m設けるとのことだったので、交通渋滞緩和、交通安全性の観点からも是非とも計画通りに進めていただきたい。

(熊本県：回答)

- ・益城中央線への取り付け道路について、益城町と連携し進めていきます。全部で35ヶ所の取り付け道路を整備する計画です。整備に必要な用地をご提供いただいた箇所については既に整備を進めています。35ヶ所のうち21ヶ所で工事に着手し、17ヶ所の整備が完了しているところです。

(質問)

- ・信号機について。計画では現状の歩行者用信号機（押しボタン式）を設置される予定と聞いています。その場合、4車線化後は、取り付け道路から益城中央線へ車両で出ることが難しくなります。交通量が多い通勤時間帯などは益城中央線へ出られるような車両用信号機の措置を考えられているか伺いたい。

(熊本県：回答)

- ・現在の計画では、歩行者用信号機が設置されますが、特に取り付け道路から出入りする車を特別に配慮するようなことは計画されていません。ただ、信号機については、交通管理者である県警の裁量であるため、今回のご要望については県警へご報告し、今後調整していきたいと考えています。

(質問：要望)

- ・雨水排水について。宮園の中央公園、安永の中井出については、雨量が多い時には、すぐ床下浸水になるため、調整池等の設置を検討していただければと考えています。

(質問)

- ・益城中央線沿線のポケットパーク・駐輪場の配置について。馬水上野添から寺迫交差点まで、ポケットパーク、駐輪場の整備計画はないのか？

(質問：要望)

- ・ポケットパークについて、ポケットパークの趣旨からすると、木山地区にもあった方がいいのではないのか。

(益城町：回答)

・現在のところ、益城中央線の馬水上野添から寺迫交差点までの区間で計画はありません。ただし、役場南側に整備予定である「交通広場」内に駐輪場を整備予定です。今後、駐輪場等のニーズが高く地元からの要望がある場合、用地が絡むことなのでお約束はできませんが、現在の計画見直しを検討していきたいと考えています。

(質問)

・ポケットパーク・駐輪場の狭小用地の考え方を確認したい。

益城中央線の用地買収後の狭小用地は所有者が利用されない場合、それをポケットパーク等の活用をするという認識でいいのか？

(益城町：回答)

・ご認識のとおりです。

(質問)

・熊本県で整備された益城中央線の歩道部分について、植樹帯の維持管理についての質問です。年に何回程度、どこが主体で行うものかを確認したい。

(熊本県：回答)

・供用開始した箇所については、熊本県の上益城地域振興局で管理をすることとなっています。県が管理している道路の除草の一般的な頻度としては、年に1、2回程度と認識しています。

令和7年度までは本事業が続きますので、緊急的な対応などは、当事務所にご連絡いただければ上益城地域振興局と調整を取りながら、適宜対応させていただきたいと考えています。

(質問)

・益城中央線と九州縦貫自動車道の交差するところの西側に水路が流れており、その北側が一部暗渠ではなく、開渠のように空いているが、車の動線等に影響するため最終的にはどうなるのか確認したい。

(熊本県：回答)

・水路が開渠のように空いている箇所については、益城町にて駐輪場の整備予定箇所であり、北側については、蓋をし、その上を駐輪場として整備する計画となっています。ただいま、蓋の設計を行っているところです。

(質問)

・益城中央線の今後整備予定の惣領から寺迫交差点の区間の整備順序についてです。

このエリアの木山地区については、土地区画整理事業内も含まれていますが、まず木山交差点については役場も完成していることもあり、目立つ部分になってきますので、優先して整備されるのか、それとも土地区画整理事業全体を見ながら整備されるのかを確認したい。

(熊本県：回答)

- ・土地区画整理事業は令和9年度まで、益城中央線の4車線化は令和7年度までの事業ということもあり、土地区画整理事業地区内の4車線化についても、令和7年度の供用に向けて、優先して工事を行っているところです。木山交差点も一昨年12月に暫定的に整備を行ったところです。最終的には、広崎地区の交差点と同じような幅員で整備を行う予定です。

(意見)

- ・雨水排水に関して、惣領の郵便局から南側、惣領交差点の南側については、雨量が多い時には、すぐ床下浸水になるため、調整池等の設置を検討していただければと考えています。

(益城町：回答)

- ・町でできる対策としては、排水ポンプによる内水排除。もう一つは、熊本地震により、都市下水路の勾配が緩くなったり、破損しているところがあると認識しており、そういった対応をやっていく必要があると考えています。

(意見)

- ・益城中央線と九州縦貫自動車道とが交差する西側の南側の接道について。南側の接道から益城中央線へ出る場合、左折（熊本市内側）でしか出られない。近くに信号機もあり、非常に難しいところではあると思うが、右折できるような措置はできないか。

(熊本県：回答)

- ・東側に古閑交差点と大きな交差点があり、信号機等をつけると交通処理が厳しいと認識していますが、いただいたご意見については、県警にお伝えしたいと思います。

(質問：要望)

- ・内水氾濫の対応について、秋津川の水位が上がると内水氾濫が増えます。秋津川河川の水位が増えないような措置をお願いしたい。